

戸塚一中だより

新宿区立戸塚第一中学校

3205 - 9672

夏休み補充教室盛況



夏休みの7月21日からの7日間と8月23日からの5日間、「夏休み補充教室」が開かれました。今までに学習したことがわからなかったり、再度学習して確かな学力を身に付けたい人は積極的に参加しましょうという呼びかけに応じて、大勢の生徒が参加しました。

60分の補充教室が1日2時間、教科

は、国、社、数、理、英の5教科で、毎日真剣に学習する姿が見られました。

特に7月中の教室は、宿題をはやく終わらせようという生徒や、1学期にわからなかったところを先生に質問する姿が多く見られ活気がありました。

8月は人数が減り、3年生が中心の教室になり、自分の進路に向けての課題をもって臨む生徒が目につきました。

補充教室が終わったあとも、自主的に学習する生徒が毎日見られ、はじめは1, 2, 3年生が20名近く、後半は3年生のみのグループが学習を続けていました。どの生徒にも力がついて、2学期に発揮できることを楽しみにしています。

このような姿が夏休みに見られるのも、全教室に冷房が完備したことが大きい要因になっているかも知れませんね。

英語学芸発表会スピーチ2位に

8月25日四谷区民ホールで開かれた新宿区英語学芸発表会で、3年佐藤愛音さんがスピーチ部門で2位に入りました。

「私たちはイラクの子どもたちに何ができるか」というテーマで発表しました。

2003年3月20日から始まったイラク戦争で、イラクの子どもたちがどのような生活を強いられているかを、ジャーナリストの提供する子どもたちの写真を見て多くのことを学んだと述べ、左目を失った5才の子、右足と下腹部を犠牲にして車椅子の子などの写真は「戦争を

起こしたのは大人。しかし、犠牲になっているのは子どもだ。」ということをお訴えていると主張していました。終わると、観客から大きな拍手がわきあがりました。



2年生夏休み職業体験

夏休み恒例の職業体験学習が今年も2年生を対象に行われました。戸塚一中では総合学習の一環として、2年生全員が体験するものです。



夏休み前に希望の職業を決め、希望先との電話連絡から学習は始まります。きちんとしたアポイントを取り、前もっての打ち合わせや段取りを決めていくこともこの学習の重要なところですよ。

この学習は地域や事業所、商店会などの方々の協力なしには成り立ちません。

戸塚育成会主催デイキャンプ

夏休みの7月31日、戸塚青少年育成会主催の「デイキャンプ」が戸塚一中の校庭で行われました。今年は約250人ほどの児童、生徒、大人が参加し、テントを張り、グループ毎にレクリエーションをやり最後にキャンプファイヤーの周りでフォークダンスをして楽しみました。

戸塚一中からは1,2年生が参加し、小学生の面倒をよく見ている姿が見られ、「ふだん学校で見ている姿とは違った良い面が見られた」という先生の感想もありました。

デイキャンプに参加した生徒の一人は「小学生の時参加して、毎年楽しみにしていました。今年は中学生として小学生

7時30分集合という運送会社に訪問しました。朝早くから運転手の方が出勤してきます。出かける前に、社長さんからこの会社がどのようなことをしているか、社員一人一人がどのような気持ちで仕事をしているか、今日の仕事はどうなっているかなどの親切な説明を受け、運転手の方と朝礼を行い、一組ずつ出かけていきました。

この他にも、本屋さん、ケーキ屋さん、スーパーマーケット、レストラン、保育園、花屋さん、図書館などさまざまな職種がありました。

この夏休みの体験は、それぞれが報告書という形でレポートを書き発表し、お世話になった方々にお礼状を届けることで一応の学習は終わります。

この職業体験は、生徒がこれから自分の進路を考えるときに節目節目で大いに役立つものと思います。ご協力をいただいた方々にお礼申し上げます。

の面倒を見る立場だったので、責任を感じました。」とっていました。

来年統合になり、このキャンプができるのかどうかわからないこともあり、なんとか続けたいという声も聞かれました。



